

## 津町内会会報

## ほたる

第57号

編集・発行責任者 新津 豊

津町内会加入世帯数 1,280 世帯(2021年12月現在)

〒248-0033 神奈川県鎌倉市腰越 873

## 津むら



## トピックス

- ◆7月25日～29日 夏休み市民ラジオ体操を腰越中学校校庭にて実施しました。
- ◆8月10日(水)市職員を講師とした「ゴミ施策や分別に関する説明会」を行政センターコミュニティ室で実施しました。
- ◆8月20日(土)「親睦地びき網大会」は、中止となりました。
- ◆8月23日(火)市主催「総合防災訓練」が山崎浄水場で実施されました。
- ◆9月6日(火)笛田リサイクルセンター(瓶・缶の処理)、テクノトランス(容器プラスチックの処理)見学会を実施しました。

## &lt;今後の予定&gt;

- ◆10月9日(日)今年度の「市民運動会」は中止となりました。代わりに、自由参加の「スポーツレクリエーション大会」を同日実施します。詳細は、回覧板でお知らせします。
- ◆今年度の「総合文化展」は中止となりました。
- ◆11月5日(土)10:00～市主催「沿岸部一斉津波避難訓練」を実施します。

## 「親睦地びき網大会」

## 中止についてのご報告

本年度は町内会文化部を中心に開催を計画し、実行に移すまでに至っておりますが、実施日の直前に業者側に発熱者が発生してしまったため、事前打合せが不可能となりました。これでは致し方なく、泣く泣く中止を決定しました。参加予定者は232名、楽しみにしていた皆様の心情が手に取るように伺え、残念でなりません。コロナに関する考え方もこのところ大きく変わり、いたるところで見直されてきています。町内会としても、様々な行事を、中止ではなく、検温、消毒等の対策は万全にして、行っていくことを前提に考えていきたいと考えています。

## 津 交差点 シリーズ ⑬

地域の人、お店などを紹介するコーナーです。

株式会社フィッシュナビ 八鳥洋二 氏

私は1975年鎌倉生まれ、鎌倉育ち、鎌倉在住の鎌倉っ子で、2004年～2019年まで津西2丁目に住んでおりました。

私は小さい頃から「魚」と「自然」が大好きで、当時の鎌倉は田園風景が広がり、泥んこになりながらドジョウや生き物に触れ合った楽しい思い出があります。しかし、私の幼少期を過ごした1970～80年代は、環境破壊と環境汚染を目の当たりにした世代でもあり、神戸川をはじめ市内河川はドブ川で異臭を放ち、身近な自然の遊び場は無残に破壊されていく様子も見てきました。そんな環境に嫌気がさし、鎌倉から目をそむけた時期もありました。

それから30年が経ち、息子と神戸川を散策すると、いつの間にか川はキレイになっており、多くのアユが戻ってきたことに感動しました。その背景には、過去40年以上にわたり開発と保全の議論が絶えず、市の緑地化への取り組みや下水道の普及、そして住民の保全活動があってこそ、今の自然が残されていることを知りました。

この感動を何かしらの形で示したく、2018年に私は、神戸川近隣にお住まいの方々が、身近なお散歩コースの中で細やかに楽しめる発見の1つとして、この川に生息するアユをはじめ多くの魚の生態をブログで発信するようになりました。そうすると、2020年にタウンニュース(鎌倉)が、この取り組みを大々的に取り上げてくださり、コラム連載「鎌倉淡水魚紀行～清流の息吹を訪ねて～」が始まり(現在も継続中)、市内河川の復活劇は、多くの市民に知れ渡るようになりました。

2021年には、小学校の自由研究の教材や特別授業にもなり、子供たちにも身近な魚への関心が広まりました。そして2022年、遂にはNHKの自然番組「ダーウィンが来た！」の番組でも取り上げてくださり、2カ月間のロケに全面協力、記憶に新しい8月14日に全国放映に至りました。川の想いをブログに綴ってから4年、巡りめぐって、やっとこの原点となる「ほたる誌」に辿り着き、この場を借りてご報告できたこと嬉しく思います。

このように神戸川は、季節に応じてアユの見所が満載！何気ない散歩道が、もしかしたら今までにない輝きを放ち“特別な場所”に変わるかもしれません。

★身近な川のこと、魚に関するご質問は、どんな些細なことでも、お気軽にご質問ください！

株式会社フィッシュナビ 八鳥洋二(はっとりようじ)

〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内 309-9

090-9006-0390(携帯) メールアドレス fish@fishnavi.com WEB サイト <https://www.fishnavi.com/>

番組の撮影スタッフと私(中央)